環境経営レポート

2025年度版

発　行　日：2026年6月15日
対象期間：2025年3月～2026年2月

古林産業機具株式会社

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
®環境省
エコアクション21
認証番号0014671

目次

1、会社概要 ・・・P3
2、企業理念 ・・・P4
3、環境経営方針・・・P5
4、環境管理体制・・・P6
5、環境経営目標と実績 ・・・P7～12
6、主な環境経営計画の内容 ・・・P13
7、環境経営活動の取組結果と次年度への取組計画・・・P13～14
8、環境法令一覧及び順守状況 ・・・P15
9、代表者による取組状況の評価及び見直しの結果・・・P16

1、会社概要

会社名　古林産業機具株式社

代表者　代表取締役社長 古林達也

本　社　　大阪市西区立売堀4丁目6番11号　従業員数 72 名　床面積 1394㎡

商品管理部　大阪市西区新町4丁目13番5号 従業員数　23名　床面積 2451㎡
（新町配送センター）

福岡支店　　福岡市博多区西月隈 3丁目 2 番 29 号　従業員数　28 名　床面積1188㎡

鹿児島営業所　鹿児島市東開町 4番地 8　従業員数 12名　床面積 1900㎡

広島支店　　広島市中区西白島町 8 番 13号　従業員数　18 名　床面積　1500㎡

岡山営業所　岡山市南区福富中1丁目 6 番14号　従業員数　7名　床面積　847㎡

北関東支店　さいたま市北区宮原町4丁目24番 11号　従業員数　17名　床面積　782㎡

西関東営業所　横浜市鶴見区駒岡 1丁目 29 番 35 号　従業員数　11名　床面積　362㎡

仙台営業所　仙台市若林区六丁の目北町15-38　従業員数　11名　床面積　793㎡

事業内容　管工機材総合商社　　従業員数　199　名

環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　　宮城健

連絡先　総務部　　TEL:06-6541-5469　FAX:06-6541-7213

本社



商品管理部
（新町配送センター）



福岡支店



鹿児島営業所



広島支店



岡山営業所



北関東支店



西関東営業所



仙台営業所



2、まえがき

カーボンニュートラル社会の実現は現在を生きる我々の使命です。
地球温暖化の主な要因である二酸化炭素（CO2）の削減を図ると共に
省資源への取り組みを進め、環境経営方針を達成するため全員で取り組んでまいります。

企業理念

古林産業機具株式会社は配管資材の供給を通して関わるすべての人
（顧客、仕入先、株主、社員とその家族）の幸せを追求します
また、あらゆることに透明性を高め、目先の利益のみにとらわれず、
社会と共に生きる存在価値のある企業として発展向上を目指します

Furubayashi
古林産業機具株式会社

3、環境経営方針

環境経営方針(理念・基本方針)

理念

事業活動のあらゆる分野において、資源を大切にし自然及び地域環境との調和と向上を図る

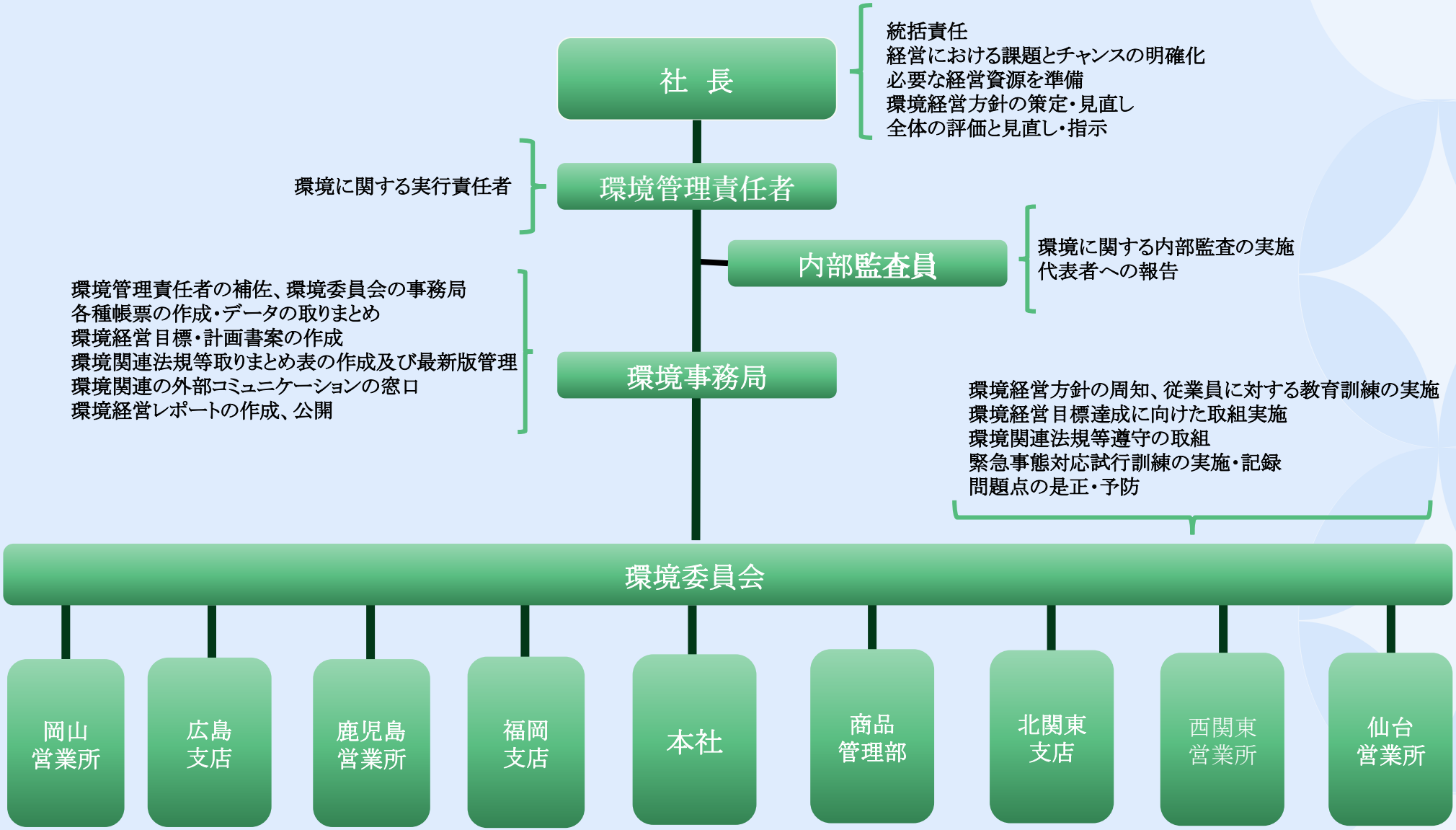
基本方針

1. 全員で継続的に環境改善活動を推進する
2. 環境関連法規等の要求事項を遵守する
3. 資源の有効利用を図るため廃棄物の削減、節水を推進する
4. 地球温暖化を抑えるための省エネルギーを推進する
5. 環境配慮製品の購入を推進する
6. この方針は全従業員に周知すると共に一般にも公表する

2024年9月12日　制定

Furubayashi
古林産業機具株式会社　代表取締役社長　古林達也

4、 古林産業機具株式会社　環境管理体制



5、環境経営目標と実績　2025年度　環境経営目標

基準年度　2023年度

二酸化炭素排出量の削減
基準年度より4%減
413,693 kg-CO_2

電気使用量の削減
基準年度より　6%減
285,234 kwh

二酸化炭素排出量 6%減
121,799 kg-CO_2

都市ガス使用量の削減
基準年度より　2%減
8, 344 m^3

二酸化炭素排出量 2%減
18,022 kg-CO2

LPGガス使用量の削減
基準年度より　10%減
41.6 m^3

二酸化炭素排出量 10%減
257 kg-CO2

灯油使用量の削減
基準年度より　2%減
1,794 ℓ

二酸化炭素排出量 2%減
4,486 kg-CO2

ガソリン使用量の削減
基準年度より　3%減
85,643 ℓ

二酸化炭素排出量 3%減
196,123kg-CO2

軽油使用量の削減
基準年度より　4%減
27,865 ℓ

二酸化炭素排出量 4%減
73,006kg-CO2

一般廃棄物の削減
基準年度より　2%減
12,486 kg

産業廃棄物の削減
基準年度より　65%減
5,007 kg

水使用量の削減
基準年度より 5%減
1,836 m^3

環境に配慮した製品、サービスへの取り組み

※**電力による二酸化炭素排出係数**　環境省　電気事業者別排出係数一覧 令和7年提出用から引用（令和7年8月1日）
本社・商品管理部（関西電力）: **福岡**（九州電力）: **鹿児島**（九州エナジー）: **広島・岡山**（中国電力）: **北関東・西関東**（東京電力エナジーパートナー）**仙台**（東北電力）

5、環境経営目標と実績　年間実績と基準年度比

	単位	基準年 2023年度実績 ３月～2月末	2025年度目標 ３月～2月末	基準年度比	2025年度年間実績 ３月～2月末	基準年度比	評価	2026年度目標 ３月～2月末	基準年度比
二酸化炭素排出量	kg-CO2	431,065	413,693	96%	407,030	94%	○	400,811	93%
（1）電力使用量	KWh	303,440	285,234	94%	275,503	91%	○	273,096	90%
（1）電力による二酸化炭素排出量	kg-CO_2	129,574	121,799	94%	117,607	91%	○	116,616	90%
（2）都市ガス使用量	㎥	8,514	8,344	98%	9,352	110%	×	8,344	98%
（2）都市ガスによる二酸化炭素排出量	kg-CO_2	18,390	18,022	98%	20,200	110%	×	18,022	98%
（3）LPG使用量	㎥	46.2	41.6	90%	27.0	58%	○	26.30	57%
（3）LPGによる二酸化炭素排出量	kg-CO_2	286	257	90%	167	58%	○	163	57%
（4）灯油使用量	ℓ	1,831	1,794	98%	2,171	119%	×	1,794	98%
（4）灯油による二酸化炭素排出量	kg-CO_2	4,578	4,486	98%	5,428	119%	×	4,486	98%
（5）ガソリン使用量	ℓ	88,292	85,643	97%	86,165	98%	×	85,643	97%
（5）ガソリンによる二酸化炭素排出量	kg-CO_2	202,189	196,123	97%	197,317	98%	×	196,123	97%
（6）軽油使用量	ℓ	29,026	27,865	96%	25,310	87%	○	24,962	86%
（6）軽油による二酸化炭素排出量	kg-CO_2	76,048	73,006	96%	66,311	87%	○	65,401	86%
一般廃棄物排出量	kg	12,741	12,486	98%	14,410	113%	×	12,486	98%
産業廃棄物排出量	kg	14,305	5,007	35%	2,954	21%	○	2,861	20%
上下水道使用量	㎥	1,933	1,836	95%	1,748	90%	○	1,720	89%

※**電力による二酸化炭素排出係数**　環境省　電気事業者別排出係数一覧 令和7年提出用から引用（令和7年8月1日）

本社・商品管理部（関西電力）: **福岡**（九州電力）: **鹿児島**（九州エナジー）: **広島・岡山**（中国電力）: **北関東・西関東**（東京電力エナジーパートナー）**仙台**（東北電力）

5、環境経営目標と実績　2026年度　環境経営目標

基準年度　2023年度

二酸化炭素排出量の削減
基準年度より7%減
400,811 kg-CO_2

電気使用量の削減
基準年度より　10%減
273,096　kwh

二酸化炭素排出量 10%減
116,616　kg-CO_2

都市ガス使用量の削減
基準年度より　2%減
8，344　m^3

二酸化炭素排出量 2%減
18,022 kg-CO2

LPGガス使用量の削減
基準年度より　43%減
26.3　m^3

二酸化炭素排出量 43%減
163 kg-CO2

灯油使用量の削減
基準年度より　2%減
1,794　ℓ

二酸化炭素排出量 2%減
4,486 kg-CO2

ガソリン使用量の削減
基準年度より　3%減
85,643 ℓ

二酸化炭素排出量　3%減
196,123kg-CO2

軽油使用量の削減
基準年度より　14%減
24,962 ℓ

二酸化炭素排出量 14%減
65,401kg-CO2

一般廃棄物の削減
基準年度より　2%減
12,486 kg

産業廃棄物の削減
基準年度より　80%減
2,861 kg

水使用量の削減
基準年度より 11%減
1,720　m^3

環境に配慮した製品、サービスへの取り組み

※**電力による二酸化炭素排出係数**　環境省　電気事業者別排出係数一覧 令和7年提出用から引用（令和7年8月1日）
本社・商品管理部（関西電力）：**福岡**（九州電力）：**鹿児島**（九州エナジー）：**広島・岡山**（中国電力）：　**北関東・西関東**（東京電力エナジーパートナー）**仙台**（東北電力）

5、環境経営目標と実績　中長期　環境経営目標　（2028年度）

二酸化炭素排出量の削減
基準年度より　6%減
405，202 kg-CO_2

電気使用量の削減
基準年度より　6%減
285,234　kwh

二酸化炭素排出量 6%減
121,800　kg-CO_2

都市ガス使用量の削減
基準年度より　6%減
8,003　m^3

二酸化炭素排出量　6%減
17,287　kg-CO_2

LPGガス使用量の削減
基準年度より　6%減
43.4　m^3

二酸化炭素排出量 6%減
269 kg-CO_2

灯油使用量の削減
基準年度より　6%減
1，721　ℓ

二酸化炭素排出量 6%減
4，303 kg-CO_2

ガソリン使用量の削減
基準年度より　6%減
82，994 ℓ

二酸化炭素排出量 6%減
190，058 kg-CO_2

軽油使用量の削減
基準年度より　6%減
27，284 ℓ

二酸化炭素排出量 6%減
71，485 kg-CO_2

一般廃棄物の削減
基準年度より　6%減
11，977 kg

産業廃棄物の削減
基準年度より　70%減
4,206 kg

水使用量の削減
基準年度より　6%減
1，817　m^3

環境に配慮した製品、サービスへの取り組み

※**電力による二酸化炭素排出係数**　環境省　電気事業者別排出係数一覧 令和7年提出用から引用（令和7年8月1日）
本社・商品管理部（関西電力）：**福岡**（九州電力）：**鹿児島**（九州エナジー）：**広島・岡山**（中国電力）：**北関東・西関東**（東京電力エナジーパートナー）**仙台**（東北電力）

6、 主な環境経営計画の内容

1. 電気使用量の削減



・エアコンを適正温度で運転する
・不要な電気の消灯
・OA機器省電力モードへの切り替え
・クールビズへの取り組み

2. 都市ガス使用量の削減



・エアコンを適正温度で運転する（本社）
・ガス製品使用時の適正管理

3. LPG使用量の削減



・ガス製品使用時の適正管理

4. 灯油使用量の削減



・暖房機器を適正温度で運転する

5.ガソリン・軽油使用量の削減



・営業・配送ルートを見直す
・アイドリングストップ
・エコドライブの徹底

7. 廃棄物排出量の削減



・分別の徹底
・印刷物の削減
・梱包材等の再利用
・OA機器等を修理し長期使用に努める

8. 水使用量の削減



・水使用時、節水を励行する

9. 環境に配慮した製品・サービスへの取り組み



・グリーン購入

商品管理部・管理課会議を行いました！

全事業所共通の荷造り方法を行う事で業務効率化、梱包資材の削減につながりました。









不要な書類を
シュレッダーし、クッション材に使用してます









7、環境経営活動の取組結果と次年度の取組計画

二酸化炭素排出量の削減 **結果**　基準年度比94・4%達成。目標達成。
計画　次年度も以下項目の削減することを心がけ目標達成を目指していきます。

1. 電気使用量の削減　**結果**　目標達成8か月（昨年度8か月）基準年度比91%。目標達成。（達成：商品管理部・広島・仙台）（未達成：本社・福岡・鹿児島・岡山・北関東・西関東）
計画　空調の適温化等の具体的な取り組み、事業所のLED化等、実行可能な物から取り組んでまいります。
具体的な取り組み　・空調温度の適温化　・不要な電気の消灯　・OA機器省電力モードへの切り替え　・クールビズへの取組など

2. 都市ガス使用量の削減　**結果**　目標達成2か月（昨年度4か月）基準年度比110%。目標未達成、（達成：商品管理部・岡山・仙台）（未達成：本社）
（本社・商品管理部・岡山・仙台）**計画**　都市ガス使用量の99%が大阪本社。エアコンの空調温度を再度見直し達成月を増やしていきます。
具体的な取り組み　・空調温度の適温化（本社）　・ガス使用時省エネルギーを心がける

3. LPガス使用量の削減　**結果**　全期間目標達成。（昨年度9か月）基準年度比58%。目標達成。（達成：北関東・西関東・鹿児島）（未達成：無し）
（北関東・西関東・鹿児島）**計画**　給湯機での使用がメイン、削減への意識が結果に反映している。現在の活動を継続していきたい。
具体的な取り組み　・ガス使用時省エネルギーを心がける

4. 灯油使用量の削減　**結果**　目標達成8か月（昨年度9か月）基準年度比119%。目標未達成。（達成：無し）（未達成：商品管理部・岡山・仙台）
（商品管理部・岡山・仙台）**計画**　ストーブに使用。寒い時期が長かったので使用量が増えた。使用時間を見直し、省エネを徹底していきたい。
具体的な取り組み・使用時間の見直し、適温化を心がける

5. ガソリン使用量の削減　**結果**　目標達成6か月（昨年度6か月）基準年度比98%。目標未達成。（達成：商品管理部・広島・岡山・北関東・鹿児島）（未達成：本社・福岡・西関東・仙台）
計画　営業の訪問回数増加、エリア拡大による走行距離の増加が原因。ルートの見直し、効率化を図って達成月をふやしていきたい。
具体的な取り組み・営業、配送ルートの見直し　・エコドライブの徹底　・アイドリングストップ

6. 軽油使用量の削減　**結果**　目標達成10か月（昨年度6か月）基準年度比87%。目標達成。（達成：福岡・岡山・北関東・仙台）（未達成：鹿児島・西関東）
（福岡・鹿児島・岡山・北関東・西関東・仙台）**計画**　ルートの見直し等、現在の取り組みを続けていけば次年度も全社目標の達成は可能と考えます。
具体的な取り組み・営業、配送ルートの見直し　・エコドライブの徹底　・アイドリングストップ

7. 一般廃棄物の削減　**結果**　目標達成4か月（昨年度0か月）基準年度比113%。目標未達成。（達成：商品管理部・岡山・鹿児島）（未達成：本社・福岡・広島・北関東・西関東・仙台）
計画　未達成の事業所は達成した事業所の取り組みを参考にし、次年度に活かしたい。
具体的な取り組み　ゴミ削減への意識だけでなく、リサイクルへの意識も高めていく。

8. 産業廃棄物排出量の削減　**結果**　目標達成10か月（昨年度12か月）基準年度比21%達成。（達成：広島・鹿児島）（未達成（初排出の為）：本社・商品管理部・福岡・岡山・北関東・西関東・仙台
計画　現在の取り組みを続け、次年度も達成したい。
具体的な取り組み　・分別の徹底　・印刷物の削減　・梱包材の再利用

9. 水使用量の削減　**結果**　目標達成10か月（昨年度8か月）基準年度比90%達成。現在の取り組みを続け、次年度も達成したい。（達成：商品管理部・福岡・西関東）
（未達成：本社・鹿児島・広島・岡山・北関東・仙台）
計画　全社目標は達成しているが、未達成各事業所の分析を強化する。
具体的な取り組み　・水使用時節水を心がける

10. 環境に配慮した製品　**結果**　不要になった書類を梱包材として再利用し、全社で使用している。
計画　費用対効果も考え、取り組みを増やしていきます。
具体的な取り組み　・グリーン購入等

7、環境法令一覧及び順守状況

法令等の名称	適用される要求事項	実施事項	遵守状況 環境事務局 確認
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の適切な処理、廃棄物置場の整理整頓　収集運搬、処分業者との書面での契約締結 廃棄物の保管基準の遵守 マニフェストの交付、管理(5年間保管) マニフェスト交付状況の報告	一般廃棄物、産業廃棄物の適切な保管と処理 を実施 マニフェストの交付・管理と収集運搬業者・処分 業者との契約締結 適切な分別の実施と管理	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の簡易及び定期点検実施 定期点検(3年に1回) 簡易点検(3ヵ月に1回)	業務用エアコンの定期点検実施、簡易点検実施。　※一部実施漏れがありました。	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器をなるべく長期間使用 再商品化に必要な料金の支払い		○
グリーン購入法	できる限り環境配慮製品を選択するよう努める		○

外部からの環境上の苦情・要請等

過去1年間、外部からの環境上の苦情・要請はありませんでした。

8、 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

代表者が前述の通りエコアクション21全体の取組状況を評価し全体的な見直しを行った結果、
代表者より下記内容の改善指示がありました。

全体評価＆指示

2025年度の環境目標について、二酸化炭素排出量・電気使用量・LPガス・軽油・産業廃棄物・水使用量の6項目で目標を達成しました。

一方、都市ガス・灯油・ガソリン・一般廃棄物の4項目は未達成であり、次年度に向けた改善が必要です。

次年度も引き続き、エネルギー削減・廃棄物削減・水使用量削減を重点に、全社一丸となって取り組むことを指示します。

■ 環境改善活動の理解促進

全従業員が環境改善活動の意義を理解し、日常業務の中で主体的に取り組む体制をさらに強化する。

■ エネルギー削減の推進

電力・ガス・ガソリン等のエネルギー使用量について、引き続き削減を進め、全社として効率的なエネルギー管理を徹底する。

■ 廃棄物分別とリサイクルの推進

ゴミ分別への意識を高め、リサイクル活動を積極的に実施すること。廃棄物削減と資源循環に貢献する。

■ 環境配慮型製品・サービスの推進

環境に配慮した製品・サービスの導入・提供について、各事業所で具体的な取り組みを進め、実効性のある活動へとつなげる。

環境経営方針	変更	なし
環境経営目標・計画	変更	なし
実施体制	変更	なし

2026年 2月28日

代表取締役社長 古林達也

Furubayashi

古林産業機具株式会社

